

研究協力者による授業見学・指導助言

～武富先生と授業を語る会～

去る6月28日、本年度の研究協力者である神戸親和女子大学准教授、武富先生に御来校いただき、授業見学と授業についての指導助言をしていただきました。この「授業を語る会」は、日々の授業についての悩みや疑問について、本校教員と一緒に考えていただき、授業改善を進めていくことを目的として行いました。



午前中は各学部の授業を見学いただき、午後は、授業者からの質問に直接助言をいただくとても貴重な機会です。授業見学では、生活単元学習の授業で取り組んでいた夏祭りのお店に、お客様として参加していただく場面もあり、生徒たちにとっても貴重な機会となりました。



「授業を語る会」の前半では、支援のあり方や評価について、授業者から直接質問をさせていただき、授業改善について授業者と一緒に考えていただきました。参加した授業者の悩みはそれぞれ違いますが、授業を良くしたい、児童生徒に力をつけたいという前向きな思いは、若手からベテランまで同じでした。後半は、この「授業を語る会」に参加できなかった教員から出された質問に丁寧に答えていただきました。最後に、日々尽力しながら授業を作っている私たちに温かいメッセージもいただき、授業改善を進めていく上で今後の励みとなりました。語る会の内容は、Youtube 限定配信によって全校職員で共有しています。

【授業を語る会の感想】



授業の悩みを話すことができよかったです。教材作りのことばかり考えていましたが、武富先生のお話を聞いて、授業を考えるための視野が広がりました。

他学部の授業も含め、学習指導要領の内容と関連させながら、全国の実践例にも触れてお話していただき、大変わかりやすく勉強になりました。

